

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒140-0002
 住 所 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー 27階
 氏 名 サンアロマー株式会社 印
 代表取締役社長 西川 直規
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	サンアロマー株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町13-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	プラスチック製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	10,552	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	製造本部 川崎工場
		所在地	川崎市川崎区千鳥町13-1
		電話番号	044-276-3571
		FAX番号	044-276-3560
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名 (法人にあっては、その代表者) を記載し、押印することに代えて、本人 (法人にあっては、その代表者) が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 29,190 t-CO ₂ (調) 29,190	(実) 27,458 t-CO ₂ (調) 27,458	(実) 27,371 t-CO ₂ (調) 27,371	(実) 23,617 t-CO ₂ (調) 23,617	(実) 27,451 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) 5.9 % (調) 5.9	(実) 6.2 % (調) 6.2	(実) 19.1 % (調) 19.1	(実) 6.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産数量		単位	t-CO ₂ /ton	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.2381	0.2369	0.2279	0.2343	0.2357
削減率		0.5 %	4.3 %	1.6 %	1.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	大規模事業所での生産量の減少、設備停止時の無効用役削減などで、全体の排出量を5.9%削減できた。
第2年度	大規模事業所での設備停止時の無効用役(スチーム・電気など)の削減を強化したことで全体の排出量を基準年度比6.2%削減(前年度比では0.3%削減)することができた。
第3年度	排出量、原単位共に、目標値を達成できた。 ただし、排出量は基準年比19.1%削減であるが、生産量が基準年比19%下がったことが大きな要因。 原単位は、設備停止時の無効用役(スチーム・電気など)削減を強化、A系列混練機ギアポンプインバーターを効率の良いものへ更新したことで、原単位基準年比は1.6%削減できた。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ◎推進体制の整備 ◎設備などの保安全管理 ◎熱使用設備 ◎電動機使用設備の新設・改造・更新 ◎温暖化ガスの使用停止 ◎その他(事務所内でのCO2削減)
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ◎推進体制の整備：省エネ法のエネルギー管理統括者を長とする、各工場を含む全社的な推進組織を設置して、省エネルギー推進を図る全社的な体制を整備した。 ◎熱利用設備：スチーム設備の不具合を整備し、使用量の無駄を削減した。 ◎その他：事務所内での節電などは継続して行っている。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ◎熱使用設備 生産活動停止時の無効使用量の低減に努めた。 ◎電動機使用設備の新設・改造・更新 新設・更新・改造にはあたらないが、熱使用設備同様、生産活動停止時の無効使用量削減に努めた。 ◎その他 事務所内の節電などの継続
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ◎熱使用設備 生産活動停止時の無効使用量の低減に努めた。 ◎電動機使用設備の新設・改造・更新 混練機ギアポンプインバーターを効率の良いものへ更新した。生産活動停止時の無効使用量削減に努めた。 ◎その他 事務所内/プラント内の節電などの継続
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<p>◎購買事務委託先のグリーン購入制度を通して、貢献を継続</p> <p>◎廃棄物についてはゼロエミッションの目標設定を行い、廃棄物の分別化・再利用を促進する。</p> <p>◎製品ライフサイクル中での環境負荷低減を目標にする。</p> <p>製品生産時のエネルギー由来CO2排出量を低減することで、製品ライフサイクルとして、より環境負荷の少ない製品を顧客に提供する。</p>
第1年度	<p>◎グリーン購入制度：実施して貢献を継続した。</p> <p>◎廃棄物：ゼロエミッションの目標設定を行い、廃棄物の分別化・再利用を促進した。</p> <p>◎製品ライフサイクル中での環境負荷低減：生産数量当たりの排出原単位削減を実現し、顧客に環境負荷の少ない製品を提供できた。</p>
第2年度	<p>◎グリーン購入制度：実施して貢献を継続した。</p> <p>◎廃棄物：廃棄物の分別化・再利用を促進した。①廃油等の処理を川崎工場、研究開発本部と共同で対応、②大量に発生する紙袋を産廃(燃焼処理)から古紙原料として処理できるようにした。</p> <p>◎製品ライフサイクル中での環境負荷低減：生産数量当たりの排出原単位削減を継続して実現し、顧客に環境負荷の少ない製品を引き続き提供できた。</p>
第3年度	<p>◎グリーン購入制度：実施して貢献を継続した。</p> <p>◎廃棄物：ゼロエミッションの目標設定を行い、廃棄物の分別化・再利用を促進した。</p> <p>昨年の①廃油等の共同処理、②添加剤紙袋の古紙原料は継続した。</p> <p>数回の生産計画停止中に発生した廃棄物は、分別化・再利用に努めた。</p> <p>◎製品ライフサイクル中での環境負荷低減：生産数量当たりの排出原単位削減を継続して実現し、顧客に環境負荷の少ない製品を引き続き提供できた。</p>

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	23,247	t-CO ₂
(調)	23,247	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
製造本部 川崎工場	川崎区千鳥町13-1	1635	プラスチック製造業	22,470 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	1
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--